

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年1月31日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年1月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【4号機使用済み燃料プール燃料取出し移送用補給水供給設備からの漏えいについて】 補給水(ろ過水)移送ポンプ配管の接続フランジ部より水の漏えいを確認。 原因は配管内の水の凍結による当該フランジ部パッキンの破断と判明。	GⅢ
2	【建屋内淡水化設備(RO)からの漏えいについて】 4号機タービン建屋内に設置している淡水化設備次亜塩素酸注入ポンプ(B)の配管接続部より水(RO処理前の水)の漏えいを確認。 漏えいは配管接続部の増し締めにて停止。 漏れた水は堰内に留まっており、外部への漏えいはなし。その後、回収を実施。 ※次亜塩素酸注入ポンプ:淡水化装置の目詰まりを抑制する薬剤(次亜塩素酸ソーダ)を系統内に入れるポンプ	GⅢ